

平成29年度第1回理事会議事録

1. 日時：平成29年5月13日（土）13：30～16：21
2. 場所：岸記念体育会館5階 504,505会議室
3. 出席者：
理事：総数23名中 坂本剛二 藤井優 松丸喜一郎 田村恒彦 岸高清 袴田登喜造 溝部政司
大野明敏 鍵山博 香西俊輔 井上康 佐藤安弘 生島賀寿也 平井宏治
田中敏夫 木場良平 佐橋朋木 藤井彌 長井弘信 林 浩二
以上出席20名
監事：総数2名中 石崎和男 阿部栄一郎 以上出席2名

田村専務が13時30分に理事20名出席で成立するとの宣言をした。

4. 議事録署名人：坂本剛二、藤井優、松丸喜一郎、田村恒彦、石崎和男、阿部栄一郎
5. 坂本会長挨拶
坂本会長が、先日種子島の鉄砲館に行ってきたが、地元の方へのビームライフル競技普及の協力依頼を受けてきたので、今後皆さんのご協力を得たい。今日は年度最初の理事会で重要な案件があり、慎重な審議をお願いする。と挨拶し、議長となった。

<決議事項>

1. 定款の変更案について
松丸総務委員長より資料1に基づき6月3日総会議案の定款変更案について説明がなされた。議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく、定款第26条の理事定数の28名への増、第59条の2の部門、委員会委員の選任方法の変更、および第64条の公告方法の変更について資料1のとおり承認した。
2. 定時社員総会開催について
松丸総務委員長より資料2に基づき社員総会を6月3日に開催したい旨、およびその開催場所、議案について説明がなされ、議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なくこれを承認した。
3. 役員候補70歳定年制の例外決議の確認について
田村専務理事より、前回理事会において、井上康氏の次回役員選考にむけた70歳定年制適用の除外について利害関係者である井上康氏本人も参加する形の投票で審議したが、本件についてあらためて井上氏を除いて議決したいとの説明があった。井上康氏が会場より退席した後、議長がこの賛否を諮ったところ全員適用除外について異議なく、井上康氏をこの6月総会での役員候補定年制適用の例外とすることを承認した。本件の利害関係者は井上康理事である。
4. 役員改選案について
松丸副会長より別添資料1に基づき6月3日総会議案である役員改選案について説明がなされた。その後議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく原案どおり総会議案とすることで承認した。
5. 正会員の変更について
田村専務理事より別添資料2に基づき6月3日総会議案である正会員変更および本部選出正会員案について説明がなされ、議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

6. H28 年度事業報告（案）について

田村専務理事より資料 3 に基づき 6 月 3 日総会議案である事業報告案について説明がなされた。これに対し大野常務よりエアピストル所持者枠拡大活動についてもっとアピールすべきとの意見があった。これに対し松丸副会長より、ジュニア、マスターズさらにパラ等、国際大会候補競技者の概念がトップシニアだけではなくなっていることから枠拡大の交渉を警察庁と続けているので、29 年度の報告には盛り込んでいきたいと発言した。その後議長がこの賛否を諮ったところ全員原案に異議なく資料 3 のとおりこれを承認した。

7. H28 年度収支決算書（案）について

田村専務理事より資料 4 および別添資料 3 に基づき 6 月 3 日総会議案である平成 28 年度決算書案について説明がなされた。

石崎監事より、決算報告内容について異議はないが、2020 年以降の財務状況への対応、N T 選手のコンプラ等の教育や誓約、海外派遣時の適正なスタッフ数など、運営執行上気になる点があるとの意見があった。これらについて松丸副会長および田村選手強化委員長より、それぞれ監事の意見も尊重して今後業務を執行する旨の説明があった。その後議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく、平成 28 年度決算書案を承認した。

8. H28 年度会長表彰について

松丸総務委員長より資料 5 に基づき説明があり、その後議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく佐川肇氏の会長特別表彰をはじめ 6 名の表彰者について本件を原案どおり承認した。

9. WC ミュンヘン大会派遣について

田村選手強化委員長より資料 6 に基づき説明があり、その後議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく本件を原案どおり承認した。

10. WC ガバラ大会派遣について

田村選手強化委員長より資料 7 に基づき説明がなされ、その後議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく本件を原案どおり承認した。

11. ジュニア世界選手権大会派遣について

藤井彌ジュニア育成副委員長より資料 8 に基づき説明がなされ、その後議長が賛否を諮ったところ全員異議なく本件を原案どおり承認した。

13. ジュリー資格者の更新、新規認定について

大野競技運営委員長より資料 9 に基づき説明がなされ、その中で左側表上の「平成 19 年度ジュリー」は正しくは「平成 29 年度ジュリー」と訂正があった。その後この賛否を議長がはかったところ全員異議なく更新者 22 名、新規登録 14 名について本件を訂正箇所も含め承認した。

14. 公認審判員の承認について

大野競技運営委員長より資料 10 に基づき説明がなされ、その後議長がこの賛否を諮ったところ全員異議なく 2 名の本部公認審判員について原案どおり承認した。

15. 記録の公認について

大野競技運営委員長より資料 11 に基づき説明がなされ、その後議長がこの賛否を諮ったと

ころ全員異議なく日本記録等について巻末の正誤表記載分も含め承認した。

16. 銃器の公認について

鍵山認定部会長より資料 12 に基づき説明がらされ、その後議長がこの賛否を諮ったところ
全員異議なくエアライフルワルサーLG400-Eについて本件を原案どおり承認した。

<報告事項>

1. 委員会報告：

1) 総務委員会

- ・スポンサー契約の締結について

松丸総務委員長より、ミズノ、日立システム、総合警備保障、飛鳥交通、いちごの各社よりスポンサー契約ができ約400万円スポンサー収入を増やすことができたとの報告があった。

2) 推薦委員会報告

- ・2、3、4月推薦委員会審査結果について

袴田推薦委員長より資料 13 に基づき報告がなされた。

3) 国体委員会報告

- ・えひめ国体中央派遣役員ほか

鍵山委員長より資料 14 に基づき、えひめ国体および福井リハーサル大会での中央派遣役員案、栃木国体施設に関する正式視察について報告があった。

4) 2020 東京オリパラ準備運営本部

- ・スポーツマネージャーについて

松丸本部長より4月14日に日ラ、日クレ、東京五輪組織委員会、ISSFでの協議があり、東京大会の射撃競技のスポーツマネージャーは英国人のピーター・アンダーヒル氏にすることについて関係者で合意し、その下に日本側の意見をしっかりと伝える日本人スタッフを必ずおくように申し入れた。との報告があった。

- ・アジアエアガン大会準備の進捗状況について

田村専務理事よりさる4月25日に第1回の大会委員会を開催し、関係者で運営体制、今後の進め方などについて情報を共有した。との報告があった。

5) 選手強化委員会報告

- ・WCニューデリー大会結果報告

田村選手強化委員長より資料 15 のとおり報告がなされた。

6) ジュニア育成委員会報告

- ・2017年度育成アスリート選手指定について

藤井彌ジュニア育成副委員長よりライフル21名、ピストル6名の新年度の選手指定について資料 16 のとおり報告がなされた。

7) 競技運営委員会報告

- ・射撃場の変更について

鍵山認定部会長より別添資料4のとおりに大分県射撃場の電子標的化5台分の認定内容

について報告がなされた。

8) 普及・生涯スポーツ委員会

- ・H29年度普及活動助成金交付決定について

田村専務理事より資料 17 のとおり9県からの申請について平成29年度普及活動助成の対象として交付決定した旨報告があった。

- ・興東電子ビームピストル調整状況

田村専務理事より3月6日の興東電子工場への立入調査で、ビームピストルの不具合の改善、受注残出荷状況、大会運営方式の開発状況を確認し、また4月24日に岸記念体育会館に実機を持ち込ませてデモにて大会運営の作動が問題ないことを確認した。さらに4月29日に岐阜の大会で試験運用を行い一部に標的PC間の通信の不具合があったが、それ以外は順調に作動し、さらにその不具合もすぐに解消できるものであると説明をうけている。との報告があった。

2. 会務報告

- ・訃報、和光市ふるさと納税制度について

内山弘行名誉会員の訃報（4月30日没 88歳）および和光市ふるさと納税制度紹介について岸高事務局長より報告があった。

- ・JOCへの理事候補の推薦について

岸高事務局長より松丸副会長をJOC理事候補者としてJOCに推薦したとの報告があった。

- ・内閣府調査について

田村専務より去る3月8日に内閣府の公益社団法人に対する定期的な立入調査があり、協会の業務執行状況などの検査を受け、特段の指摘は無かったとの報告があった。

3. その他

- ・アンシュッツ2002アルミストックのルール適用について

大野競技運営委員長は本部公認審判個人として、アンシュッツ2002アルミストックのグリップからバットプレート間の銃身軸とストック下端までの長さが（規則集RR7.4.4.2ライフル規格表のF）、2017年の新ルールから適用となった140mmを超える件については、ISSF側でも想定していなかった事態でこれによりアンシュッツ2002アルミストックの射手が有利になる要因は見られない内容である。との見解を示した。したがって国内大会においては当面これによる不合格、失格の措置は行なわないとの委員長提案に理事会出席の理事すべてが同意したが、審判の独立性を担保するために、統一見解等の文章を出さない旨の報告があった。

- ・ビームピストルジュニア用グリップについて

鷺見参事よりビームピストルで手首とグリップが触れやすいジュニア用のグリップを製作するように興東電子に依頼したとの発言があった。

- ・理事会資料の誤記等について

石崎監事より理事会資料の修正や誤記があるが、作成する各委員会、事務局はそのようなあやまりが無いよう慎重に作成してほしいとの発言があった。溝部常務より海外大会については帯同役員の中で報告者を決めて抜けがないようにすべきだと発言があった。

- ・ツイート、ネット系メディア対応について

門間広報部会長より、SNS系のメディアに射撃関係のTV取材の内容、取材風景などを取材側に無断で取材を受けた日ラ関係者が発信し出てトラブルになりそうなケースがあり、取材側に出しても良いか確認が必要な事を認識してほしいとの発言があった。

16時21分議長が閉会を宣言した。

平成29年5月22日

議事録署名人

議長、代表理事（会長）坂本剛二 印

代表理事 藤井優 印

代表理事 松丸喜一郎 印

代表理事 田村恒彦 印

監事 石崎和男 印

監事 阿部栄一郎 印

平成29年度第1回理事会資料訂正正誤表

平成29年5月13日(土) 13:30～17:00に開催された公益社団法人日本ライフル射撃協会平成28年度第5回理事会の審議の中で、訂正があり訂正内容も含め議決された資料の正誤内容は下記のとおり

<審議事項>

1. ジュリー資格者の更新、新規認定について

資料9の左側表上の「平成19年度ジュリー」は正しくは「平成29年度ジュリー」と訂正があった。

2. 記録の公認について

1) 50mP60 (ファイナル)

資料11の50mP60 (ファイナル) で山下敏和選手(自衛隊体育学校)が2017年2月28日にニューデリーで開催されたWCニューデリー大会で樹立した249.8点(ISSF新ルール)の公認が追加された。

資料11の50mP60 (ファイナル) の山下敏和選手が2017年04月08日に樹立した新記録の「248.8点」は削除された。

2) 10mAR S 60M (ファイナル)

資料11の10mAR S 60M (ファイナル) で島田敦選手(栄北高校)が2017年2月24日にニューデリーで開催されたWCニューデリー大会で樹立した227.4点(ISSF新ルール)の公認が追加された。

3) 10mAR S 60 JM (ファイナル)

資料11の10mAR J S 60M (ファイナル) で島田敦選手(栄北高校)が2017年2月24日にニューデリーで開催されたWCニューデリー大会で樹立した227.4点(ISSF新ルール)の公認が追加された。

4) 10mAP 60M (ファイナル)

資料11の10mAP 60M (ファイナル) で松田知幸選手(神奈川県警察)が2017年2月28日にニューデリーで開催されたWCニューデリー大会で樹立した240.1点(ISSF新ルール)の公認が追加された。

<報告事項>

3. えひめ国体中央派遣役員表について

資料14 えひめ国体中央派遣役員表(CP) 案中の上から二人目氏名「小原顕彦」は「小原顯彦」に訂正。

資料14 福井しあわせ元気国体中央派遣役員表(CP) 案中の上から二人目氏名「小原顕彦」は「小原顯彦」に訂正。

以上